



阿部 幸一 議員
(新 生 会)

高齢者への独自政策は

栄養指導、運動指導等 支援に努める

問 少子高齢化の問題が深刻となつている。若者対策も大切であるが、町内で40割近い割合を占める65歳以上の高齢者に対する行政の取り組みも非常に大事だ。国や県の事業に加え、この町に住んでよかったと思えるような、高齢者のための独自の政策の展開について、町の考えを問う。

佐藤町長 現在町では、高齢者が安心して生活できる対策として、見守りネットワーク事業や要介護高齢者おむつ給付事業、緊急通報システム等の在宅支援事業、また介護予防のための栄養指導や運動指導など、町独自の高齢者対策に取り組んでいる。今後も、高齢者の方々が健康で、安心し

て生活できる環境づくりのため、高齢者のニーズに答えられるよう支援に努める。

問 集まって話ができる場があると楽しい暮らしもでき、これが健康にも繋がると思うが、いかがか。

武藤長寿福祉課長 介護予防の事業で行っている。今はコロナ禍ということもあるため、十分注意しながら進めていく。



健康で楽しい暮らしが続くための取り組みを

その他の質問

- ◆ 町営建設工事に係る業務の管理は適切か
- ◆ 児童生徒のいじめ対策は
- ◆ 入江田沼に残る瓦礫の調査等の進捗状況は

アワビの陸上養殖の計画は

現在は計画ない

問 近年、どの市町村においても養殖事業が盛んである。他市町村と差別化を図り、収益の高いアワビの陸上養殖を取り入れる計画はないか。

町長 「つくり育てる漁業」の推進は、町にとって重要な施策。これまで漁協が行うアワビなどの種苗の放流事業を支援し

てきた。現段階では、陸上養殖に取り組む計画はないが、事業の参入に当たっては、用地や設備導入費用、種苗や販路の確保など課題も多く、天然アワビの取引価格や地元漁業者への影響も十分精査した上で、慎重に判断しなければならぬものと考えている。

3年度開始 土づくり支援内容は

土壌診断費用等を補助する

問 農業の新たな取り組みを行うとのことで、非常に期待している。「豊かな土づくり支援事業」の内容は。また、現時点でどんな農産物を想定しているか。

町長 事業内容は、農作物の収量や品質の向上を目指す農業者を支援するため、農地の土壌診断費用や診断結果に基づいた肥料や土壌改良材の購入

費用について、10アール当たり2万円を上限に補助するもの。また、町堆肥センターで製造された堆肥を購入する場合は、その費用の3分の1を補助する。想定される農産物は、ほ場整備が完了した水田での水稲や転作による大豆のほか、畑での各種野菜と考えている。